

知って備える防災メモ

第37回



火山の異常を感じたら〜発見者通報について〜

世界の約1千500の活火山のうち、日本には10の活火山があり、世界でも有数の火山国といえます。

私たちは、火山活動が作り出した景色や温泉、自然の恵みなどの恩恵を受けていますが、時に火山は、噴火活動によって火山災害を引き起こし、被害をもたらすこともあります。

気象庁は、火山災害を軽減するため、地震の発生や地殻変動、噴気などの火山の活動状況を監視していますが、観測機器だけでは捉えられないこともあります。普段とは異なる場所からの噴気や地震による揺れ、地形の変化、鳴動、爆発音など、異常いつもとは違う現象を発見した

ときは、

▼通報内容例

- ・通報した方の氏名と連絡先
- ・どのような現象が起きているか
- ・現象の場所（発見場所や通報場所から離れている場合は、どここの場所からどちらの方向か）
- ・現象を発見した日時（遠望カメラや地震計などで、同じ時刻の観測データを確認するため）
- ・現象を発見したときの天気

などを、最寄りの気象台や市町村、警察署・交番などに速やかに連絡してください。

皆さんからの通報には、火山活動の変化を示す重要な情報が含まれている場合があります。火山災害から住民や観光客を守るため、「大げさかもしれない」、「たぶんしたことではないかもしれない」などご考えず、迷わず連絡してください。

▼問い合わせ

室蘭地方気象台（☎0124-2249）

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

なのはな会

『なのはな会』は、平成19年に発足しました。現在、会員は70代から80代までの女性8人。毎月2回、第2・4金曜日の10時から12時まで幌別西団地集会所で活動し、絵手紙を作っています。

「絵手紙を始めたのは、約18年前に市民会館で行っていた絵手紙講座に参加したことがきっかけでした。その後、近所の方と一緒に『なのはな会』を立ち上げました」と話してくれたのは、代表の坂本泰子^{さかもとやすこ}さん。

1枚のはがきの中に、自分の思いを絵と文字で表現できることが絵手紙の魅力だと言います。「出来上がった絵手紙は、年賀状や季節のお便りとして家族

1枚のはがきで思いを伝える『絵手紙』をはじめませんか

『なのはな会』の立ち上げ当初から入会している磯野幸子^{いそのゆきこ}さんは、「最後の楽しみとして、何か新しい事をやってみたくて思い入会しました。少しずつ上手に描けるようになっていくことがうれしいですね。ほかのメンバーの方とは年代が近いので和気あいあいとした雰囲気の中、作品作りの合間にお話しをすることも楽しみの一つです」と話してくれました。

初心者の方も大歓迎の同会。見学や入会に関する問い合わせは、坂本さん（☎0124-6839）まで。



▲楽しみながら絵手紙作りを行うメンバー